

栃木県議会議員

平木ちさこ 活動レポート

元気ネット

発行
平木ちさこ
事務所
〒321-1274 栃木県日光市土沢1962
TEL 0288-26-6739
FAX 0288-26-6759
Eメール hiraki-chisako@nifty.com

ホームページ <http://hirakichisako.com> (奇数月末日更新)

視察調査二題 その1

チャンスあり!

栃 木県は1999年に「やすらぎのとちぎ路」をキャッチコピーに、デスティネーションキャンペーン(=DC)の指定をJRから受けた。デスティネーションは目的地のことだ。

DCとは、北海道から九州までの全国のJRグループ6社と、地域の自治体、住民、企業等が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーンのこと。

そして、このほど19年ぶりに栃木県が2度目の指定を受けた。期間は1年半後の2018年4月から6月の3か月間。この時期に向けてJR6社が一斉に栃木にゆこう!と宣伝して全国から観光誘客を応援してくれる。選ばれた現地では、それに応えて観光資源の掘り起こしや、今あるものにさらに磨きをかけてその後へと繋げて行く。

2年後のキャッチコピーは、「本物の出会い栃木」と決まった。

*

早 速、再来年の本番を前に、来春4月18日から3日間、全国宣伝会議が開催される。全国から旅行代理店ら1,000人がブレDCとして宇都宮に集う。

1日目は県内各地の観光地がプレゼン(提案)を行い、2日、3日目は、全国から訪れた旅行代理店が、それぞれ実際に県内各地の現地視察をして、翌年の本番の企画を練るというもの。早速、わが会派でJR東日本大宮支社営業部を訪れ話を聴いた。いただいた貴重なアドバイスを紹介しよう。

*

栃 木県は東京からの地の利がよく、在来線もある。栃木県のライバルは伊豆、房総、富士山等で、東京のお客さんは1時間という近距離を元に比較し、選んでいる。

2000年頃までは地域のPR・情報発信がメインだった。そして観光はお土産や温泉宿などモノの消費だったが、今は「こと商品」。何をするか、体験するかに移った。

DCの成功の秘訣は地元の努力、内容のある企画で、既存の施設やすでに居る人が垣根を越えて結びつくことが鍵となる。そしてその後の地域の活性化につながるシステム作りが必要。すなわち仕組みや組織や人材をDCを通して作って行く。

地域が元気になるようなキャンペーンにすることだ。

*

同 体バス旅行よりも公共交通機関を使うとそこから先の地域の交通機関にお金が落ちる。

日光はグレーター東京。JRのパスを買って東京のホテルに荷物を置いて、日光や那須に行く。しかし、地元のお宿はそこを何とか泊まって欲しいと願っている。ドライな言い方をすれば、ならばお客さんが泊まる理由を作らねばならない。目の前まで日帰りのお客さんが来ている。東照宮に外国人が来ているが鬼怒川に泊まる人が少ない。鬼怒川を日光とっていない。

ひとつは、日光の観光協会のHPを開くと、日光市が旧5地区にエリア分けされていて、まずエリアを選択せよと出てしまう。すると日光を選んで終わる。日光には東照宮の他にも、鬼

怒川温泉も足尾も湯西川もありますよという見せ方をした方が良いのではないかと。日光・那須はインバウンド(外国人観光客)で勝負でしょう。また、宿、土産、バスやタクシーなどは観光に親和性があるが、それ以外の観光と直接関係のない農産物や国立公園、学校など横軸の連携を引き出してもらえたらなお面白いのではないかと。

*

栃 木県は自分の強みである日帰り客を排除しないことです。せっかく来てくれたお客さんに朝まで居てもらう。とにかく泊まる理由を作ることです。

宿泊客を増やす試みとしては、2014年のDCで、新潟県は「にいがた朝ごはんプロジェクト」を企画。新潟県産のコシヒカリと食材を各地域共通の朝食とし、さらにお総菜「にいがたごはんの素」をつくりお土産として売り出した。他にも「にいがた地酒の宿」として、新潟県の地酒・それに合う献立、さらには新潟清酒の達人がいる宿にとまってもらい、とことん地酒と食を楽しんでもらおうという企画だ。同年の山形県のDCでは「朝摘みさくらんぼ・朝はとびきり糖度が高い」と宿泊を促す。

また、昨年の福島県のDCでは、「小原庄助のんびりプラン」として、朝寝・朝酒(少しの後ろめたさが贅沢の極み!)・朝湯に加えて各宿での朝スペシャルを提供。温泉地だからこそ楽しめる非日常の贅沢を薦めている。

さらに、今年の新潟県は、「青森は函館の下にあります、函館から1時間です、新幹線でどうぞ!」とメジャーな函館をメインに打ち出した。客は市町単位で見えていない、エリアで考えているため、「あ! 函館のそばだ」となる。

そして青森古川市場の「のっけ丼」は3か月のDC期間中に18,000杯、前年比の308%を売り上げたという。コンビニのパンの包装にまで「DC開催」と印刷し、青森の三村知事はその後も頑張っているという。

*

こ れからの栃木県は来年4月の宣伝会議に続き、5月にはJR東日本の豪華寝台列車「TRAIN SUITE 四季島」が日光へ、夏には東武鉄道「SL」が運行を開始。11月には技能五輪・アビリンピック、そして18年4月のDC本番へ。さらに19年にはアフターDCが。20年7・8月には東京オリンピック、22年には栃木国体開催と、イベントが目白押しだ。

宣伝とイベント列車はJRがお約束しますが、主役は地域のやる気。主体はあくまで栃木県の皆さんです。栃木県は恵まれています。甘えと独りよがりと一緒にいると、出来ません、となります。来春は素晴らしいプレゼンテーションをしてください、期待しています!と結んだ。

本物の出会い栃木にちなんでお見合い企画も面白いかも! 県でもDCキャンペーンの実行委が始動し、国立公園満喫プロジェクトも「東京に近いが東京では味わえない体験を!」と動き始めている。

せっかくのチャンスだ。栃木県も日光も頑張ろう!



視察調査二題

その2

ママの不安を優しく包もう!

核 家族化が進み、また、高齢出産が増える中、今は里帰り出産も出来ない例がある。そんな中、世田谷区は2008年にいち早く産後ケアセンター桜新町を立ち上げた。

利用対象者は、家族からの支援がない母子や育児に不安がある、または心や身体が不調の場合など。出産した病院を退院してからすぐでも良いし、生後4か月までの間に利用できる。

最高1週間を限度に泊まれ、赤ちゃんの未就学の兄姉も一緒に利用出来る。宿泊の他、日帰りのケアもある。母乳相談などの母の身体・こころのケア、赤ちゃんの育児・沐浴や授乳などきめ細かな手助けがある。養育困難な世帯にはヘルパーの派遣もする。

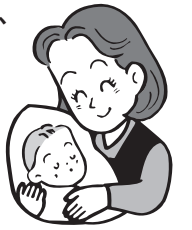
職員全てが助産師、その他臨床心理士もいて、産後の不安定な気持ちに優しく寄り添う。

1泊2日で、本人負担は6,400円。デイは2,060円。非課税世帯はその半額となる。区が9割を補助している。15室

の個室は、いつも予約が取れないほどの人気で、不安な時期に誰かが側にいて寄り添うことで、産後の鬱や虐待の防止にもつながっている。

建物の総工費は、2.1億円。武蔵野大学、世田谷区、東京都が3分の1ずつ出し合って建設した。

世田谷区は人口888,000人。出生数は平成14年の5,880人から増え続け、27年には8,019人に。出産育児に手厚いケアのある自治体へと、住み替える若い人たちもいる。痒いところに手の届く温かな行政施策が功を奏している。



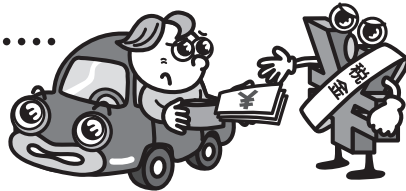
*

国 も14年度にようやく8億円の予算を付けて、和光市や名張市など全国28の自治体がモデル事業に取り組んだ。16年度には24億円の予算を付けた。

栃木県にもこんな温かい施設が欲しい。
地方創生はこんな優しい施策で!

びっくり!

Σ(°Д°;)



マ のほど、全日本自動車産業労働組合総連合会から民進党県本部に対し、自動車関係諸税に関する要望を受けた。

昨年もこの税金の多さには驚いたが、自動車には取得、保有、走行時に9種類もの各諸税がかかっている。

その税とは、取得時に、自動車取得税と消費税。保有時に、自動車税と自動車重量税。走行時に、揮発油税、地方揮発油税、軽油引取税、石油ガス税、消費税。組合では、これらの税を廃止または整理して簡素化しよう、と要望している。

*

購 入時の自動車取得税は、消費税との二重課税であり、重量税共に、旧道路特定財源の一般財源化に伴い課税根拠を失っていると、直ちに廃止を訴えている。

また、軽自動車税の税額引き下げや、複雑な燃料課税を全て廃止して燃料税として負担を軽減する。現行のエコカ

一減税を延長するなどを要望している。

*

平 成28年度の租税総収入99兆8,989億円(国税+地方税)を税目別に見ると、消費税20%、所得税18.0%、法人税12.9%、固定資産税8.8%、自動車関係諸税8.2%となり、99兆円中8兆円を占めている。

試算によると、180万円の1,800ccの新車を12年乗るとすると、その間にかかる税金の総額は215万円となり、車体より高額になってしまうという。

確かに見直しが必要だと思う。

《資料》自動車ユーザーに課せられている不条理且つ過重な税負担

取得段階	保有段階	走行段階
自動車取得税 消費税	自動車重量税 自動車税・ 軽自動車税	揮発油税 地方揮発油税 軽油引取税 石油ガス税 消費税
車体課税		燃料課税

取得・保有・走行の各段階で課せられる9種類に及ぶ複雑且つ過重な税を負担している
消費税との二重課税が依然存続している

平木ちさこ
一般質問傍聴応援の
お願い

- 日 時：12月14日(水) 11時25分～12時25分
- 集 合：平木事務所に9時30分集合(乗り合わせて行きます)
- 申込み：☎0288-26-6739へ

※直接行ける方は、時間までに議会棟6階に直接お願い致します。また、とちぎテレビ、CRT栃木放送でもご視聴できます。

12月・2017年1月の催し

元気会 毎月第1土曜日 10時～11時30分

- 日 時▶ 12月3日(土) 2017年1月7日(土)
- 会 場：元気ネット事務所(日光市土沢1962)
- ※会費、申し込みは不要

女性の茶話会 毎月第1水曜日 19時～21時

- 日 時▶ 12月7日(水) 2017年1月4日(水)
- 会 場：元気ネット事務所(日光市土沢1962)
- 参加費：300円(軽食付き)
- 申込み：☎0288-26-6739 平木事務所へ

※平木ちさこは、HPオフィシャルサイトまたはFBに、「今日の活動」を毎日アップしています。どうぞご覧ください。(平木ちさこで検索してください)

県政について、みなさんのご意見をお寄せください。



【Eメール】 hiraki-chisako@nifty.com

※平木ちさこの「元気ネット」ホームページは奇数月末日更新です。

※平木ちさこオフィシャルサイト <http://hirakichisako.com>

平木ちさこ 検索

